

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 10 日現在

機関番号：11302

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2013

課題番号：22530944

研究課題名(和文) 華人系アジア型地理カリキュラムに関する比較研究

研究課題名(英文) International Comparative Study about Chinese-Asian Geography Curriculum

研究代表者

吉田 剛 (YOSHIDA, Tsuyoshi)

宮城教育大学・教育学部・教授

研究者番号：10431610

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円、(間接経費) 990,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、中国・香港・シンガポールに着目し、米英や国際組織との対比から、華人系アジア型地理カリキュラムの特徴を解明し、我が国の新たな地理教育の在り方について言及した。主な結果は、地理的基本概念の機能から2つの地理カリキュラムの類型を見いだした。華人系アジア型は、そのボトムアップ型の特徴を持ち、価値態度目標の明示、地誌的知識の空間的な均一性への配慮、“持続発展”の強調の特徴がみられた。我が国の新たな地理教育創造のために、我が国の地理教育は、地誌的学習の意味に多重なシティズンシップを繋げ、地理的基本概念と地理的技能に組み合わせて、進めていく必要性がある。

研究成果の概要(英文)：Focused on China, Hong Kong, Singapore, this study have clarified the characteristics of Chinese-Asian geography curriculum comparing with U.S., U.K., the international organization, and have mentioned new Japanese geography education. This study have found geography curriculum of two types from the aspect of geographical basic concepts. And Chinese-Asian geography curriculum have been its bottom-up type. This study have found the clarification of value-attitudes target, the consideration for spatial uniformity of geographical knowledge and the highlighting "sustainable development". It will be need for the creation of a new geography education in Japan that Japanese geography education road up to connect the meaning of geography learning with a multiple citizenship and to combine geographical basic concepts and geographical skills.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：社会科 地理教育 カリキュラム 東アジア 比較教育

1. 研究開始当初の背景

(1)香港はイギリス植民地として自立し、華人社会にイギリス様式を取り入れてきたが、中国への返還に伴い、中国の教育政策を取り入れてきている。シンガポールも華人系中心の多民族国家であり、香港と同様にアジアNIEsの代表的都市国家となり、かつてのイギリス植民地でもありながら、米英の影響を受け入れ、自立した近代国家である。

(2)これら華人系アジアの学校教育には、米英型教育と融合した新たな教育が育まれてきている。それと我が国の現代がどのように一致し、異なるかについて吟味し、我が国の新たな教育創造へと役立っていく意義がある。

(3)我が国の社会科・地理教育において米英を対象とした例は多くみられるが、アジアを対象に共通性などから吟味した例は少ない。多民族国家の国民統合への着目、社会的背景による影響、米英に対する華人系アジアの教育的な共通性などから、我が国との対比も含め、華人系アジア型の地理カリキュラムの特徴について解明し、我が国の新たな地理カリキュラム創造に資する必要がある。

2. 研究の目的

本研究は、中国・香港・シンガポールに着目し、米英や国際組織の動向などとの対比から、華人系アジア型地理カリキュラムの特徴について解明しながら、知識基盤型社会に向けた我が国の新たな地理教育の在り方について検討することを目的とした。

3. 研究の方法

(1)先行のシンガポール地理カリキュラムに関する成果や、中国・香港の教育制度などを踏まえ、中国・香港の中学校地理カリキュラムの動向について、主に地理的基本概念や地理的技能、価値態度形成などに着目しながら、その全容について分析・考察した。

(2)米英の地理カリキュラムの特徴や、国際地理学連合地理教育委員会(IGU)による地理教育国際憲章などの国際的な動向などについて、とくに地理的基本概念や市民的資質などに着目し、分析・考察した。

(3)中国・香港・シンガポールおよび我が国と、米英やIGUなどの特徴を比較し、華人系アジア型地理カリキュラムの共通性について考察した。その成果を踏まえ、我が国中学校地理的分野におけるとくに「地理的な見方や考え方」・地理的技能・市民的資質などに関する新時代を見据えた提言を行った。

4. 研究成果

(1)シンガポール小学校社会科2006年版と中学校低学年地理科カリキュラム2006年版には、内容構成を通じた地理の系統性よりも、

全教育活動を通じた資質育成の要となる「国民教育」を土台としたナショナルシティズンシップ育成が明確に意図されている。前者の小学校社会科2006年版には、社会科学全般の基本概念への関係付けがみられ、内容構成に国家に関わる人物の取り上げからナショナルシティズンシップ育成が重視されている。2012年版には基本概念の系統性は無く、新たに市民性育成の目標や探究アプローチ、21世紀型コンピテンシーとの対応などがみられ、新たな展開を向かえている。後者の中学校低学年地理2006年版には、「環境」の地理的基本概念が全単元構成の中心軸にあり、全単元内容が「環境」に関係付けられている。後半の単元には国家事例が後部に位置付けられ、ナショナルシティズンシップ育成が強調されている。2014年版には、イギリス地理カリキュラムに影響を受けた地理的基本概念が新たに内容に関連付けられている。

(2)香港中学校地理カリキュラム2010年版(2011年版と同様)には、旧版との比較から、一般目標・項目目標・本質的な学習要素・単元内容などから関連性が明確に示されている。高度な構造化を持ち、各単元に地域的課題から多重な規模の事例地域が取り上げられ、そして問題解決的な過程を通して地理的基本概念が関連付けられ、多重なシティズンシップ育成へと結び付けられる。他方で、様々な地域規模の事例地域の取り上げによって、世界の諸地域に関する空間的認識を偏り無く保証し、香港を中心に中国と世界の諸地域を重複させながら、複合的・合理的な「環境拡大的重複型事例学習」と呼べる方式がとられている。各単元には、授業に結び付く主要な項目内容が構造的に示され、それを反映する教科書(英文4社)も個性的にもなっており、発行されている。

(3)中国の地理課程標準2011年版は、旧版(実験稿)と同様となり、香港やシンガポールと比べ、我が国中学校社会科地理的分野に比較的に近い内容構成がとられている。スキル育成・系統地理的観点の理解と選択式地誌学習(世界の諸地域と中国に分かれる)・郷土地理(調査)の内容配列をとり、地誌学習には我が国の「地理的な見方や考え方」に相当する、方法知となる地理的基本概念(「位置/分布」・「関係と差異」・「環境と発展」)が説明されている。性質・理念には、「地域性」・「総合性」の上に「思想性」・「生活性」・「実践性」があげられ、価値態度形成、生活関連、地理的技能、探究などが強調されている。他、経済発展・環境保全・持続発展などに関わる文脈が強調されている。

(4)英・米・シンガポール・香港・中国・我が国の地理カリキュラムにおける地理的基本概念を検討した結果、内容知と方法知となる地理的基本概念の機能から2つの類型が

見いだせた。トップダウン型は、地理的基本概念が内容知(カリキュラム全単元内容)にトップダウン的な内容構成上の明示的なねらいとなり、それが活用される方法知となる場面で構造的・顕在的となり、内容知と方法知において一体的に扱われる。ボトムアップ型は、地理的基本概念が内容知にボトムアップ的な内容構成上の暗示的なねらいとなり、活用される方法知となる場面で理念的・潜在的となり、内容知と方法知において分離的に扱われる。この2つの類型による地理的基本概念の機能に基づく識別方法は、地理カリキュラムや地理学習をみる有力なツールになり、地理カリキュラムのパラダイム転換をもたらす可能性がある。

(5)中国・香港・シンガポール・我が国の共通性に次に5つがあげられ、我が国も含む、華人系アジア型地理カリキュラムの特徴とみなせる。地理的基本概念のボトムアップ型地理カリキュラムの特徴、価値態度目標の明示(愛郷・愛国意識そして世界市民性)、地誌的知識に関する空間的な均一性への配慮(各政府の社会的事情により様々な方式)、教育方法上で現代的な探究・ICT・GISなどを強調、その経緯や意義は異なるが、各政府の地理カリキュラムの様々な「環境」「持続発展」に関わる項目や内容を強調。

(6)アメリカ地理教育の五大テーマとスタンダードの地理的基本概念には関連がみられ、5大テーマはIGUの地理教育国際憲章の地理的基本概念にアレンジされている。近年のIGUルツェルン宣言は国際的なESDの影響を受けたものであるが、全般的には国際地理教育憲章からの系統性は薄いとみられる。地理教育における「持続発展」の意味は、5大テーマを源流に発展的に広く世界に引き継がれ、華人系アジア型地理カリキュラムにもその影響がみられる。

(7)我が国中学校学習指導要領社会科地理的分野「内容」における地理的基本概念には、潜在的に「環境」と「地域」が基底にあり、その歴史的な潮流が見いだせる。このことと、「地理的な見方や考え方」に含まれる地理的基本概念の活用については分離的となり、ボトムアップ型の潜在的な地理的基本概念の機能とみなせる。この点については今後、世界的な知識基盤型社会に依じていく我が国にとって、一層の議論の深化が求められる。現代の複雑な社会下において、高度な資質や活用性の高い概念的知識、そして実用的な様々な高度な技能をより効果的・合理的に獲得していく必要があるからである。

(8)香港地理カリキュラムにみるように、多重なシティズンシップ育成に概念的知識と技能の獲得も含めた構造的な持たせるためには、トップダウン型の地理的基本概念の機

能との融合を図り、各種の目標に組織的に連なる各単元内容の明確化などからリフォームを進める方法がある。我が国をみた場合、華人系アジア型の特徴ともなる地誌的学習の意味について、21世紀の国際社会に相応しい多重なシティズンシップ育成に繋げて高度に発展させながら、それに内容知と方法知における地理的基本概念を地理的技能と組み合わせる有機的に機能できるように組み込み、新たな地理教育の創造へと道づけていく必要がある。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計8件)

吉田剛(2014):香港中学校地理カリキュラムにおける地理的技能の体系. 地理教育研究(全国地理教育学会)、第14号、pp.1-9. 査読有

吉田剛(2013):香港中学校地理カリキュラムにおける地理的基本概念の機能. 地理教育研究(全国地理教育学会)、第13号、pp.17-26. 査読有

吉田剛(2013):シンガポール小学校社会科の新展開 - 教育的な営みと国際的な価値付けの強調 -. 『日本社会科教育学会全国大会発表論文集第9号』、pp.254-257. 査読無

吉田剛(2013):シンガポール小学校社会科教科書にみる人物の取り上げ方 - ナショナルシティズンシップ育成のために -. 社会科教育研究(日本社会科教育学会)、118号、pp.28-38. 査読有

吉田剛(2013):地理的基本概念からみる地理カリキュラムにおける2つの類型 - 香港・英国・米国・シンガポール・我が国の比較 -. 宮城教育大学紀要2012年. 第47巻、pp.71-83. 査読無

吉田剛(2012):中学校社会科におけるESD単元の開発 - 地理的分野と公民的分野の連携 -. 宮城教育大学附属国際理解教育センター年報、第7号、pp.1-12. 査読無

吉田剛(2012):香港中学校地理カリキュラム2010年版の枠組み. 宮城教育大学紀要2011年. 第46巻、pp.45-60. 査読無

吉田剛(2011):中等地理教育における能力・技能の方向 - 地理的基本概念と探究過程の課題. 『地理』、vol.56、pp.29-34. 査読無

[学会発表](計16件)

吉田剛:中国地理カリキュラム2011年版の分析 - 実験稿2001年版との比較 -. 東北地理学会2014年度春季大会、2014年5月17日、仙台市戦災復興記念館.

吉田剛:東アジアの華人系地理カリキュラムの分析 - 中国と香港の比較 -. 日本地理学会2014年春季学術大会、2014年3月28日、国土館大学.

吉田剛:香港中学校地理カリキュラムにおける価値態度の育成. 社会系教科教育学

会研究大会、2014年2月9日、大阪教育大学。

吉田剛:香港中学校地理カリキュラムにおける地理的技能の体系。全国地理教育学会第7回大会、2013年11月23日、文京学院大学。

杳澤遥・吉田剛:イギリス地理ナショナルカリキュラムにおける地理的基本概念の機能。日本社会科教育学会第63回全国研究大会、2013年10月27日、山形大学。

吉田剛・杳澤遥:イギリス中等地理教科書における地理的基本概念の役割。2013年度日本地理教育学会。2013年8月24日、佐賀大学。

吉田剛:シンガポール小学校社会科シラバス2012年版の特徴 - 3つの市民的資質の育成のために - 。全国社会科教育学会第61回研究大会、2012年10月20日、岐阜大学。

吉田剛:アメリカ地理教育の五大テーマとスタンダードにおける地理的基本概念の再評価 - 地理教育国際憲章からルツェルン宣言への波及 - 。日本社会科教育第62回全国研究大会。2012年9月29日、東京学芸大学。

吉田剛:中学校学習指導要領地理的分野「内容」における考察の観点などの記述の分析。2012年度日本地理教育学会、2012年7月22日、麗澤大学。

吉田剛:中学校学習指導要領社会科地理的分野「内容」にみる地理的基本概念。東北地理学会2012年度春季大会、2012年5月27日、仙台市戦災復興記念館。

吉田剛:香港中学校地理カリキュラムの変容 - 地理的基本概念に関する英国・米国・シンガポール・我が国との比較 - 。第23回社会系教科教育学会研究大会、2012年2月18日、兵庫教育大学。

吉田剛:2010年版香港中学校地理カリキュラムの構成原理 - 学習と指導の在り方を中心にして - 。全国地理教育学会第5回大会、2011年11月27日、目白大学。

吉田剛:シンガポール小学校社会科教科書にみる人物の取り扱い - ナショナルシティズンシップ育成におけるその役割 - 。日本社会科教育学会第61回全国研究大会、2011年10月23日、北海道教育大学(札幌)。

吉田剛:香港中学校地理カリキュラムの構成。東北地理学会2011年度秋季大会、2011年10月17日、仙台市戦災復興記念館。

吉田剛:シンガポール中学校低学年地理教科書にみる地理的基本概念。2011年度日本地理教育学会研究大会。2011年8月21日、秋田大学。

吉田剛:シンガポール中学校低学年地理教科書におけるナショナルシティズンシップ育成。日本社会科教育学会第60回全国研究大会、2010年11月13日、筑波大学。

業構想。草原和博・渡部竜也編著『“国境・国土・領土”教育の論点争点 - 過去に学び、世界に学び、未来を拓く社会科授業の新提案 - 』、明治図書(印刷中)、pp.113-120。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉田 剛(YOSHIDA Tsuyoshi)

宮城教育大学・教育学部・教授

研究者番号:10431610

〔図書〕(計1件)

吉田剛(2014):シンガポールの教科書と授